Н 建築確認申請書等チェックリスト(建築物・設備・工作物・計画変更) Ver.8.1 申請者名 建築場所 一戸建ての住宅 □ 共同住宅 長屋 店舗 丁場 倉庫 主要用途 飲食店 □ 児童福祉施設等 車庫 □ その他( 元確認番号 月 号 年 日 第 国道 県道 市町村道 位置指定道路 その他( 道 路 42条1項( 1号 2号 3号 4号 □ 5号) □ 42条2項 43条認定•許可 道路幅員 市街化 域 調整 非設定) 都計外 敷地面積  $m^2$ 1中 □ 2中 □ 1住 □ 都市計画 1低 2低 | | 2住 用途地域 準住 🗌 田園 近商 🗌 商業 準工 🗌 建築面積 m² 工専 📗 なし 防火 🗌 決定事項 防火地域等 準防火 22条指定 なし 延べ面積  $m^2$ の他 風致し 臨港 伝建 📗 その他 建ぺい率 % (申請部分)  $m^2$ 容 積 率 % □ 急傾斜地崩壊危険区域 災害危険区域 災害危険区域(□ 県指定 市町村指定) □ 指定なし □ 指定なし 土砂災害警戒区域 急傾斜崩壊 特別警戒区域 警戒区域 十砂災害 土石流 特別警戒区域 警戒区域 警戒区域等 地滑り 警戒区域 宅地造成等工事 宅地造成等工事規制区域 特定盛土等規制区域 規制区域等 構造計算不要 構造計算 ルート1 → 土木事務所審査 □ ルート2,3 → 適合性判定必要(県委任審査機関) 代 理 者 電話 FAX (設計者) 携帯 E-mail 建築確認申請手数料 申請床面積 A(m²)建築確認申請書第三面11のイ欄の面積による ② 省エネ仕様基準審査加算額(該当する場合) 手数料 (円) 手数料 (円) 手数料算定基準床面積 A 手数料算定基準床面積 A チェック チェッ )内は変更申請手数料 戸建住宅 共同住宅 < A ≦ 30m² 11.000 A < 200m<sup>2</sup> 12.000 22,000 30m² < A ≦ 100m² 20,000  $200 \text{m}^2 \leq A < 300 \text{m}^2$  $100\text{m}^2 < A \leq 200\text{m}^2$  $200\text{m}^2 < A \leq 300\text{m}^2$  $300\text{m}^2 \le A < 2,000\text{m}^2$ 35.000 31.000 13,000 43,000  $000 \text{m}^2 \leq A < 5,000 \text{m}^2$ 55,000 300m² < A <u>≦ 5</u>00m² 5. 000m<sup>2</sup> ≤ A 46.000 71.000  $500 \text{m}^2 < A \le 1,000 \text{m}^2$   $1,000 \text{m}^2 < A \le 2,000 \text{m}^2$   $2,000 \text{m}^2 < A \le 10,000 \text{m}^2$ 48,000 ※不等号に注意 2= 円 71,000 207,000 □減免規定適用  $10,000\text{m}^2 < A \leq 50,000\text{m}^2$ 311,000 □建築物の計画変更の場合(変更に係る部分の床面積の2分の1(床面積 50, 000m² < A 531,000 が増加する場合は当該部分の床面積))について算定 エレベーター、エスカレーター □移転、大規模の修繕、大規模の模様替え、用途変更の場合(当該部分の 床面積の2分の1)について算定 11.000 (7.000) 小荷物専用昇降機 6,000 (4,000) 工作物 11.000 (6.000) 確認申請手数料 円 円 1)= (1)+(2)=

- ※確認申請書等の受理時の審査として次の①から⑥までを確認します。これらの確認ができない場合は申請を受理できない場合があります。
- ※ なお、申請書等の受理後、法令に適合しない場合又はチェック内容が事実と相違している場合は確認済証を交付できない 場合がありますので、事前のチェックを十分に行ってください。
- ■申請者等において、指針による受理時の審査内容を確認のうえ、下表①~⑥のチェック欄 □ にチェック(レ)をお願いします。 ① 設計者の記載の確認

申	請	書	適用	確認図書	申請者等	受付	審査	備考
第第	1	回回	設計者	申請書第1面と第2面との照合			П	
設	計図		設計者の資格の記載及び 記名の確認	<ul><li>・正本のすべての図書</li><li>・構造計算書(表紙のみ)</li></ul>				

② 正本及び副本の整合性の確認

区	分	確認内容	申請者等	受付	審査	備考
正副	本 · 本	受付時に法令上必要な添付図書が提出されていること				

確認内容       請済み     判定終了     ・適合判定通知書(原本or写し)       ・判定申請書・図書(副本)       判定中       申請提出予定       請不要	申請者等	受	審	
請 済 み     ・判定申請書・図書(副本)       判定中     申 請 提出予定	一石玉	付	杳	備考
「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
申 請提出予定	一	H		
請 不 要				
HD I 자				
建築物エネルギー消費性能確保計画の提出状況 申請書第2面8欄	↓いす	<u> </u> れか	にチュ	ェック
確認内容	申請者等	受付	審査	備考
出済み 判定終了 ・ 適合判定通知書(原本or写し) ・ 計画書(副本or写し)				
出 済 み   「「	$+ \exists$	$\vdash$	$\overline{\Box}$	
提 出 提出予定				
適用除外に該当 省エネ審査の対象外(建築基準法第6条の4第1項第3号に該当)		Щ	Щ	
省エネ適判を行うことが比較的容易な特定建築行為(住宅のみ)	╁╧	┟╧	$\vdash$	
出 不 悪 省エネ(誘導)仕様基準に基づき評価したもの 設計図書に関連項目を記載				
設計住宅性能評価を受けたもの 設計住宅性能評価書(写し) 長期優良住宅建築等計画の認定 or 認定通知書(写し)		Ш	Ш	
長期愛艮任毛建築寺計画の認定 or   認定週知書(与し)   長期使用構造等の確認を受けたもの   確認書(写し)				
性能向上認定、低炭素認定、大臣認定 認定通知書(写し)				
設計者等の資格等の確認(申請書及び建築計画概要書等)	-			
設計有等の負恰等の確認(申請書及の建築計画板要書等) 区分 確認内容	申請	受	審	備考
また歩(ル冊来に L 7 中語の担合) Lの数人	者等	付	査	1 佣
理 者 · 委任状(代理者による申請の場合)との整合 · 建築士事務所に所属する建築士や行政書士などの有資格者				
計 者 建築士事務所に所属する建築士であるか				
事 監 理 者 建築士事務所に所属する建築士であるか				
ず				
設計者の業務範囲の確認		1 -	_	
区分	申請者等	受付	審査	備考
計 第3面及び第4面を照合し、建物規模・構造に応じた設計者の業務範囲を確認 する。				
b内の既存建築物の状況についての確認 築物の控制中誌にさいては、下記の2項目についてチャック機、ロッにチャック(し)して/ださい。				
B内の成存産業物の状況についての確認 築物の確認申請においては、下記の2項目についてチェック欄 □ にチェック(レ)してください。 既存建築物と検査済証の有無				
築物の確認申請においては、下記の2項目についてチェック欄 口 にチェック(レ)してください。				
築物の確認申請においては、下記の2項目についてチェック欄 口 にチェック(レ)してください。 既存建築物と検査済証の有無 ] 敷地内に既存建築物は無い OK <u>終了</u>	<del></del>	 \		
築物の確認申請においては、下記の2項目についてチェック欄 □ にチェック(レ)してください。 既存建築物と検査済証の有無  ] 敷地内に既存建築物は無い OK <u>終了</u> ] 直近の検査済証交付時の内容と相違ない OK ⇒ 検査済番号・交付日を配置図等に記載え	斉み <u>2</u> ′	<b></b> _		
築物の確認申請においては、下記の2項目についてチェック欄 □ にチェック(レ)してください。 既存建築物と検査済証の有無  ] 敷地内に既存建築物は無い OK <u>終了</u> ] 直近の検査済証交付時の内容と相違ない OK → 検査済番号・交付日を配置図等に記載え  ] 直近の検査済証交付時の内容と異なる(検査済証が無い場合も含む) → <u>2へ進む</u>	斉み <u>2</u> ~	<b></b>	<u> </u>	
築物の確認申請においては、下記の2項目についてチェック欄 □ にチェック(レ)してください。 既存建築物と検査済証の有無  ] 敷地内に既存建築物は無い OK <u>終了</u> ] 直近の検査済証交付時の内容と相違ない OK ⇒ 検査済番号・交付日を配置図等に記載え	斉み <u>2</u> ~	<b></b>	<u>-</u>	
築物の確認申請においては、下記の2項目についてチェック欄 □ にチェック(レ)してください。 既存建築物と検査済証の有無  ] 敷地内に既存建築物は無い OK 終了  ] 直近の検査済証交付時の内容と相違ない OK ⇒ 検査済番号・交付日を配置図等に記載え  直近の検査済証交付時の内容と異なる(検査済証が無い場合も含む) ⇒ 2へ進む  敷地内の既存建築物の状況と対応方法	ěみ <u>2</u> ′	<b></b>	<u> </u>	
築物の確認申請においては、下記の2項目についてチェック欄 □ にチェック(レ)してください。 既存建築物と検査済証の有無  ] 敷地内に既存建築物は無い OK 終了  ] 直近の検査済証交付時の内容と相違ない OK ⇒ 検査済番号・交付日を配置図等に記載え  直近の検査済証交付時の内容と異なる(検査済証が無い場合も含む) ⇒ 2へ進む  敷地内の既存建築物の状況と対応方法  #請に係る敷地 及び建築物の  #請は保る敷地 及び建築物の  #表別と協議	の上、申	請はで	可能。	
築物の確認申請においては、下記の2項目についてチェック欄 □ にチェック(レ)してください。 既存建築物と検査済証の有無  ] 敷地内に既存建築物は無い OK <u>終了</u> ] 直近の検査済証交付時の内容と相違ない OK ⇒ 検査済番号・交付日を配置図等に記載え  直近の検査済証交付時の内容と異なる(検査済証が無い場合も含む) ⇒ <u>2へ進む</u> 敷地内の既存建築物の状況と対応方法  #請建築物と 申請に係る敷地 及び建築物の 法適合性に影響なし	の上 、 申 、 あれば	請はで	可能。	措置を
築物の確認申請においては、下記の2項目についてチェック欄 □ にチェック(レ)してください。 既存建築物と検査済証の有無 □ 敷地内に既存建築物は無い OK <u>終了</u> □ 直近の検査済証交付時の内容と相違ない OK ⇒ 検査済番号・交付日を配置図等に記載を □ 直近の検査済証交付時の内容と異なる(検査済証が無い場合も含む) ⇒ <u>2へ進む</u> 敷地内の既存建築物の状況と対応方法  □ 財務を表現した。 □ DK □ サ語に係る敷地 及び建築物の 法適合性に影響なし □ DK □ はただし、違反事項がとっていただく必要	の上、申 「あれば」 あり。	請はる別途、	可能。是正	措置を
築物の確認申請においては、下記の2項目についてチェック欄 □ にチェック(レ)してください。 既存建築物と検査済証の有無  ] 敷地内に既存建築物は無い OK <u>終了</u> ] 直近の検査済証交付時の内容と相違ない OK ⇒ 検査済番号・交付日を配置図等に記載え  直近の検査済証交付時の内容と異なる(検査済証が無い場合も含む) ⇒ <u>2へ進む</u> 敷地内の既存建築物の状況と対応方法  #請建築物と 申請に係る敷地 及び建築物の 法適合性に影響なし	の上、申 「あれば」 あり。	請はる別途、	可能。是正	措置を
築物の確認申請においては、下記の2項目についてチェック欄 □ にチェック(レ)してください。 既存建築物と検査済証の有無  ] 敷地内に既存建築物は無い OK 終了  ] 直近の検査済証交付時の内容と相違ない OK ⇒ 検査済番号・交付日を配置図等に記載え  直近の検査済証交付時の内容と異なる(検査済証が無い場合も含む) ⇒ 2へ進む  敷地内の既存建築物の状況と対応方法  #請建築物と	の上、申 「あれば」 あり。	請はる別途、	可能。是正	措置を
築物の確認申請においては、下記の2項目についてチェック欄 □ にチェック(レ)してください。 既存建築物と検査済証の有無  ] 敷地内に既存建築物は無い OK <u>終了</u> ] 直近の検査済証交付時の内容と相違ない OK ⇒ 検査済番号・交付日を配置図等に記載が 直近の検査済証交付時の内容と異なる(検査済証が無い場合も含む) ⇒ <u>2へ進む</u> 敷地内の既存建築物の状況と対応方法    助地内の既存建築物の状況と対応方法    即請に係る敷地及び建築物の法適合性に影響なし   既存建築物に違反なし □ OK	の上、申 があれば、 あり。 ただく必	請はる	可能。是正	
築物の確認申請においては、下記の2項目についてチェック欄 □ にチェック(レ)してください。 既存建築物と検査済証の有無  ] 敷地内に既存建築物は無い OK <u>終了</u> ] 直近の検査済証交付時の内容と相違ない OK ⇒ 検査済番号・交付日を配置図等に記載が 直近の検査済証交付時の内容と異なる(検査済証が無い場合も含む) ⇒ <u>2へ進む</u> 敷地内の既存建築物の状況と対応方法  #請建築物と 申請に係る敷地 及び建築物の 法適合性に影響なし	の上、申 があれば、 あり。 ただく必	請はる	可能。是正	「既存建 築物の5
築物の確認申請においては、下記の2項目についてチェック欄 □ にチェック(レ)してください。 既存建築物と検査済証の有無  ] 敷地内に既存建築物は無い OK <u>終了</u> ] 直近の検査済証交付時の内容と相違ない OK ⇒ 検査済番号・交付日を配置図等に記載が 直近の検査済証交付時の内容と異なる(検査済証が無い場合も含む) ⇒ <u>2へ進む</u> 敷地内の既存建築物の状況と対応方法  #請建築物と	の上、申 があり。 ただく必 と と と と と 必 必	請は可別金、要あり	可能。是正	「既存建築物の5 況調査プ
築物の確認申請においては、下記の2項目についてチェック欄 □ にチェック(レ)してください。 既存建築物と検査済証の有無  ] 敷地内に既存建築物は無い OK 終了  ] 直近の検査済証交付時の内容と相違ない OK ⇒ 検査済番号・交付日を配置図等に記載が  直近の検査済証交付時の内容と異なる(検査済証が無い場合も含む) ⇒ 2へ進む  敷地内の既存建築物の状況と対応方法  #請に係る敷地及び建築物の法適合性に影響なし	の上、申 があれば、 あり。 ただく必! 必要	請は可別金、要あり	可能。是正	「既存の野沢イドライン」に基
築物の確認申請においては、下記の2項目についてチェック欄 □ にチェック(レ)してください。 既存建築物と検査済証の有無  ] 敷地内に既存建築物は無い OK 終了  ] 直近の検査済証交付時の内容と相違ない OK ⇒ 検査済番号・交付日を配置図等に記載  ] 直近の検査済証交付時の内容と異なる(検査済証が無い場合も含む) ⇒ 2へ進む  敷地内の既存建築物の状況と対応方法  #請建築物と	の上、申 があれば、 あり。 ただく必! 必要	請は可別金、要あり	可能。	「既存建 一、 で で で で で で で で で で で で で
築物の確認申請においては、下記の2項目についてチェック欄 □ にチェック(レ)してください。 既存建築物と検査済証の有無  ] 敷地内に既存建築物は無い OK 終了  ] 直近の検査済証交付時の内容と相違ない OK → 検査済番号・交付日を配置図等に記載が  ] 直近の検査済証交付時の内容と異なる(検査済証が無い場合も含む) → 2へ進む  敷地内の既存建築物の状況と対応方法  #請建築物と	の上、申ばあり。 ただく必 とだく必 が 要 が必要	請は可別金、要あり	可能。。	「築況インづ調書を選択している。」「乗ったのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ
築物の確認申請においては、下記の2項目についてチェック欄 □ にチェック(レ)してください。 既存建築物と検査済証の有無  ] 敷地内に既存建築物は無い OK 終了  ] 直近の検査済証交付時の内容と相違ない OK ⇒ 検査済番号・交付日を配置図等に記載  ] 直近の検査済証交付時の内容と異なる(検査済証が無い場合も含む) ⇒ 2へ進む  敷地内の既存建築物の状況と対応方法  #請建築物と	の上、申ばあり。 ただく必 とだく必 が 要 が必要	請は可別金、要あり	可能。	「既物調学」に現る活動では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般
築物の確認申請においては、下記の2項目についてチェック欄 □ にチェック(レ)してください。 既存建築物と検査済証の有無  ] 敷地内に既存建築物は無い OK 終了  ] 直近の検査済証交付時の内容と相違ない OK → 検査済番号・交付日を配置図等に記載が  ] 直近の検査済証交付時の内容と異なる(検査済証が無い場合も含む) → 2へ進む  敷地内の既存建築物の状況と対応方法  即請に係る敷地及び建築物の法適合性に影響なし	の上、申ばあり。 ただく必 とだく必 が 要 が必要	請は可別金、要あり	可能。	「築況インづ調書でいる。「集別では、一年のでは、一年のでは、日本のでは
築物の確認申請においては、下記の2項目についてチェック欄 □ にチェック(レ)してください。 既存建築物と検査済証の有無 □ 敷地内に既存建築物は無い OK 終了 □ 直近の検査済証交付時の内容と相違ない OK ⇒ 検査済番号・交付日を配置図等に記載が □ 直近の検査済証交付時の内容と異なる(検査済証が無い場合も含む) ⇒ 2へ進む 敷地内の既存建築物の状況と対応方法 □ 申請に係る敷地及び建築物の 法適合性に影響なし	の上、申ばあり。 ただく必 とだく必 が 要 が必要	請は可別金、要あり	可能。	「既物調ランで調書が対け、 一年のでは、 一
築物の確認申請においては、下記の2項目についてチェック欄 □ にチェック(レ)してください。 既存建築物と検査済証の有無  □ 敷地内に既存建築物は無い OK 終了 □ 直近の検査済証交付時の内容と相違ない OK → 検査済番号・交付日を配置図等に記載が □ 直近の検査済証交付時の内容と異なる(検査済証が無い場合も含む) → 2へ進む  敷地内の既存建築物の状況と対応方法  □ 申請に係る敷地及び建築物の法適合性に影響なし	の上、申ばあり。 ただく必 とだく必 が 要 が必要	請は可別金、要あり	可能。	「既物調学」に現る活動では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般
築物の確認申請においては、下記の2項目についてチェック欄 □ にチェック(レ)してください。 既存建築物と検査済証の有無 □ 敷地内に既存建築物は無い OK 終了 □ 直近の検査済証交付時の内容と相違ない OK ⇒ 検査済番号・交付日を配置図等に記載が □ 直近の検査済証交付時の内容と異なる(検査済証が無い場合も含む) ⇒ 2へ進む 敷地内の既存建築物の状況と対応方法 □ 申請に係る敷地及び建築物の 法適合性に影響なし	の上、申 があり。 ただく必 ・ が 必 要 が が 要	請は可別金、要あり	可能。	「既物調ランで調書が対け、 一年のでは、 一

\_\_\_\_\_|